

アルミ・銅、値動き不透明も需要堅調を予想

橋本健一郎氏(橋本金属)は、4月の銅とアルミの原料需要と価格の見通しについてレポートをまとめたので紹介する。

原料需給は、年度末・棚卸による購入抑制から在庫は少ないものの、3月の国内自動車生産が半減との予測やそれによる販売不透明感から購入意欲は薄い。ただ2010年の自動車販売台数は中国1800万台、米国1150万台、日本460万台(世界四季報)から予測すれば、日本の販売台数が半減したとしても米中の経済成長予測から判断すれば十分補える数字ではあり2011年度世界販売という観点からは影響は少ない。また輸入塊の上海シグマが4月現在で2,580ドルと前月から依然上昇し調達難が予測される。

LME価格については震災の影響で自動車産業界を背景にアルミもパニック下げを予測するが世界的な景気回復で2,550から2,700ドルを予測。

アルミスクラップは合金メーカーは震災による3-5月の自動車大幅減産予測を背景

に3月後半価格から10-20円下げ予測。ただし仮設住宅需要により増産予定のサッシメーカーについては据え置き予測。

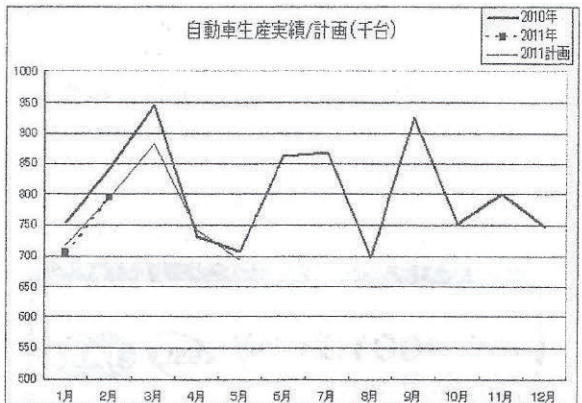
銅需要に関しては、震災で販売不透明から銅原料購入姿勢はメーカーで千差万別。ただ今までの高値警戒感や年度末・棚卸等による購入抑制から現在、在庫が少ないのは確か。米中経済の好調や日本の復興需要で不足する事は確実視されており、通常どおり購入するのではないかと。

銅価格は銅建値ベースの銅・合金スクラップは、米・中・欧経済回復というプラス材料があるものの、足元の震災というマイナス要因があり上値も限られる。ただ9,000ドル切る水準では中国の買いが入るとの予測からLMEは下値9,000ドル上値1万ドル。銅・銅合金スクラップに関しては銅建値で79-87万程度と予測している。

◆計画台数 (震災前の発表のため大幅変更の可能性あり)

3月発表の3-5月自動車生産計画は 231万5千台(前年比-3%)であった。

	3月	4月	5月
計画台数	68万3000台	74万1100台	69万3300台
前月比	+10.8%	-15.5%	-6.4%



関西地区合同安全衛生大会開催 日本伸銅協会

日本伸銅協会・安全衛生委員会は関西側の各地区伸銅業安全衛生研究会と合同で「第48回関西側地区合同安全衛生大会」を開催する。

内容は次の通り。

日時:4月15日(金) 午後2時開会
(受付は午後1時30分より)

場所:(社)中央電気倶楽部 西館5階・513号室
住所:大阪市北区堂島浜2-1-25
TEL:06-6345-6351

内容:事業計画・安全実績報告、講演、懇親会
なお、出欠は4月8日(金)までに日本伸銅協会・関西事務所(FAX:06-4800-8641)へ通知表を送付とのこと。

故銅・銅滓
アルミ原料

高価即金買入

《ご照会を乞う》

森 下 商 店

大阪市西成区南津守7-12-46

TEL(06)6659-5577~8

FAX(06)6659-5579